

地元で気軽に気兼ねなく

0歳児からの音楽劇 チビゲキVOL.8

2026.

12.12 土

11時・14時
全2回

セロ唄いの ゴーシュ

浦和コミュニティセンター
多目的ホール

セロがなくても、
ぼくはぼく。

原作：宮沢賢治
演出：大神田 潔
脚本：聡美 杏

©Hiromi Tama



主催：特定非営利活動法人劇団サードクォーター
共催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団（さいたま市浦和コミュニティセンター）
後援：埼玉県教育委員会・さいたま市・テレ玉・NHKさいたま放送局

公演情報

2026/12/12

① 11時公演～（10時開場） ② 14時公演～（13時開場）
全2回（受付＆開場：開演1時間前） 上演時間60分

浦和コミュニティセンター 多目的ホール
（浦和コムナーレ10F）

電車：JR線「浦和駅」東口より徒歩1分
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1
TEL：048-887-6565

チケット料金

中学生以上1000円
小学生以下500円
3歳以下無料
当日精算
席種 自由席 各回150席



ご予約はこちらから

チケット予約は、
【劇団ホームページ】または
【浦和コミュニティセンター受付】にて

あらすじ

宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』から着想を得た、もうひとつのゴーシュの物語。

大洪水で、楽団の楽器が流されてしまいました。楽団は歌うことになりましたが、セロを失ったゴーシュは、すっかりふてくされています。

そんなゴーシュのもとに、ネコやかつこう、狸の子、野ねずみたちが訪ねてきます。「セロを弾いて！」とせがむ動物たちに、ゴーシュは「セロは洪水で流されてしまったんだ」と答えます。すると、狸の子が尋ねました。

「ゴーシュくんは、セロがないとセロ弾きではないんですか？」
動物たちとの不思議なやりとりや、思いがけない応援を通して、ゴーシュの心に少しずつ変化が生まれていきます。
自分にとって、本当に大切なものってなんだろう。
音楽と歌声でつづる、ゴーシュが自分らしさを見つけていく物語です。



チビゲキとは？



小さな子どもと一緒に、お芝居を楽しもう！
チビゲキは、0歳から楽しめる音楽劇シリーズ。
泣いても、動いても大丈夫！全席自由・出入り自由で、親子一緒に気兼ねなく楽しめます。

泣いても
OK!

動いても
OK!

出入り
自由!

出演者紹介



ゴーシュ：見村 綾海

楽長：鈴木 潤

楽団助手：鈴木 里空

ネコ：新井 彩菜

かつこう：肥田 有紗

狸の子：広田 幸恵

野ねずみの親：榎本 淳

語り部：古瀬 弘希



チェリスト：児玉 千佳

チビゲキの活動を応援する
寄付チケットあります！
未来の子どもたちに
素敵な舞台を届けるために
応援よろしくお願いします！
寄付チケットはこちらより→



「寄付チケ」で
お芝居を
応援しませんか？



NPO法人 劇団サードクォーターとは
1990年創立。さいたま市を拠点に、演劇を通じて地域に笑顔と豊かな出会いを届ける劇団です。
「演劇で地元を豊かに」を合言葉に、子どもから大人まで楽しめる舞台づくりに取り組んでいます。
<https://www.tqtqtq.org/>